

単元名 心がほっと なごむもの(デザインや工芸など)

配当時間 5時間

- 単元の目標 (1) 形や色彩, 材料などの性質, それらが感情にもたらす効果や, 造形的な特徴などを基に, 遊び心などを全体のイメージで捉えることを理解することができる。
- (2) 使う目的や条件などを基に, 使用する者への作用, 機知やユーモアなどから主題を生み出し, 使いやすさや機能と遊び心などとの調和を総合的に考え, 表現の構想を練ることができる。使いやすさや機能と遊び心などとの調和のとれた洗練された美しさなどを感じ取り, 表現の意図と創造的な工夫などについて考えるなどして, 美意識を高め, 見方や感じ方を深めることができる。
- (3) 美術の創造活動の喜びを味わい主体的に使いやすさや機能と, 遊び心などを生かして, 使う人のことを考えたものをデザインすることを基に構想を練ったり, 意図に応じて表現方法を創意工夫して見通しをもって創造的に表したりする表現の学習活動に取り組もうとする。

標準的な展開例

12270302_001

【準備等】加工粘土, 木材, 陶土, 釉薬, 粘土板, へら, 木工用接着剤, 木工やすり, 参考資料, ワークシート, 視聴覚機器, 筆記用具, 絵の具, 身辺材料

学 習 活 動	留 意 事 項 など
<p>1 参考作品を鑑賞する。</p> <p>★参考作品から使いやすさや遊び心を感じ取ろう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○参考作品から使うときのよさや楽しさがどこから感じられるのか考える。 ○使用する場所や使う人にどのような気持ちになってほしいかを想像する。 <p>2 主題を考える。</p> <p>★生活を楽しく豊かにするをテーマに構想を練ろう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○様々な人に対する使い道や使われる場所や場面, 使用する人々を楽しく豊かにする機知から主題を生み出す。 ○美しさを効果的に表し, 材料の性質を生かして総合的に考えながら構想を練る。 <p>3～4 主題を基に, 制作する。</p> <p>★材料の特性を考え, 主題を基に制作する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○材料の特性が感情にもたらす効果を考える。 <p>○主体的に材料や用具を関連付けたり総合的に扱ったりするなどして表す。</p> <p>5 鑑賞会をする。</p> <p>★作品を鑑賞して, 見方や感じ方を深めよう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○同じ目的でつくられた他の作品と比較するなどして, 見方や感じ方を深める。 <p>○造形の要素などに着目させて, 色彩の色味や明るさ, 鮮やかさや材料の性質や質感などについて実感を伴いながら理解する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・形や色彩, 材料や光などの性質や, 感情にもたらす効果などについて理解させる。 ・使用する場所や使う人との関わりなどから考えさせる。 <p>【評】美術の創造活動の喜びを味わい主体的に使いやすさや機能と, 形や色彩などの効果を総合的に考え構想を練り, 意図に応じて表現方法を創意工夫し見通しをもって表す表現の学習に取り組む活動を通して, 「主体的に学習に取り組む態度」を評価する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・機知やユーモアに富んだ遊び心などから人々の心を和ませる視点をもたせる。 ・材料のもつ性質や, それらが感情にもたらす効果を理解させ, 材料をこだわって吟味し厳選させる。 <p>【評】形や色彩, 材料などの性質及び, それらが感情にもたらす効果や, 造形的な特徴などを基に, 全体のイメージや遊び心などで捉えることを理解する活動を通して, 「知識・技能」を評価する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生徒自らが感じた必要性から工夫が行われるよう, 自分の意図に合う表現方法を模索させる。 <p>【評】使う目的や条件などを基に, 使用する者への作用などから主題を生み出し, 使いやすさや機能と, 形や色彩などの効果を総合的に考え, 表現の構想を練る活動を通して, 「思考・判断・表現」を評価する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・表現意図に基づいて納得のいくまで材料や用具, 表現方法を創意工夫させる。 <p>【評】材料や用具の特性を生かし, 意図に応じて表現方法を創意工夫して, 制作の順序などを総合的に考えながら, 見通しをもって表す活動を通して, 「知識・技能」を評価する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・主題とともに洗練された美しさなどを読み取らせる。 <p>【評】美術の創造活動の喜びを味わい, 主体的に作者の心情や表現の意図と創造的な工夫などについて考えるなどの見方や感じ方を深める鑑賞の学習活動に取り組む活動を通して, 「主体的に学習に取り組む態度」を評価する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・形や色彩, 材料の性質や感情にもたらす効果などについて理解したことを振り返らせる。 <p>【評】使いやすさや機能の調和のとれた美しさなどを感じ取り, 作者の心情や表現の意図と創造的な工夫などについて考えるなどして, 美意識を高め, 見方や感じ方を深める活動を通して, 「思考・判断・表現」を評価する。</p>

【 備 考 】

本単元は、使用する場所や、使う人にどのような気持ちになってほしいかを想像しながら、材料の特性を生かし、温かみや遊び心が感じられるものを考え、思いを込める必要がある。材料の性質や質感を捉えさせるためには、実際に材料を手にとらせ、その感触などを十分に確かめさせるとともに材料の可変性などに気付かせることが大切である。表現する活動では、自らの作品の形や色彩、材料などがもつ感情にもたらす効果が、多くの人が共感できるかどうかを検討するなど、客観的な捉え方を重視することが中心となる。